

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中無色無受想行識無眼
耳鼻舌身意無色声香味触法無眼界乃至
無意識界無無明亦無無明乃至無老死
亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等
咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
多咒即說咒曰

羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩埵訶

般若心經

平成二十九年九月二十七日 岸川公一謹書

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
不增不減是故空中無色無受想行識無眼
耳鼻舌身意無色無聲香味觸法無眼界乃至
無意識界無無明亦無無明尽乃至無老死
亦無老死尽無苦集滅道無智亦無得以無
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
多是大神呪是大明呪是無上呪是無等等
呪能除一切苦真実不虛故說般若波羅蜜
多呪即說呪曰

般若心經

羯諦羯諦波羅羯諦波羅僧羯諦菩提薩訶訶



初春
芳賀 隆一

初春
初春に
心新たに
飛翔を期し
無事快哉で
時は過ぎ行く



ここに幸あり
芳賀 隆一

ここに幸あり
君たちは
ひとあし先に
逝ったけど
きっと会おうね
花咲く園で

飛翔

快哉

延壽萬歳

未来への
希望

快哉

「快哉」は、喜び、爽快の意。心の中に湧き起こる喜び、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感。

飛翔

「飛翔」は、飛ぶ、舞うの意。心の中に湧き起こる喜び、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感。

延寿万歳

「延寿万歳」は、長生きを願うこと。心の中に湧き起こる喜び、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感、心の中を駆け抜ける快感。

心のことば

芳賀 隆一



ミモザ

小森 令子



猫とY婦人

小森 令子



果、実。

小森 令子



虫鳴桑葉飛
俊光刻

虫鳴桑葉飛

植木 俊光



避暑高楼
俊光

避暑高楼

植木 俊光



南山寿

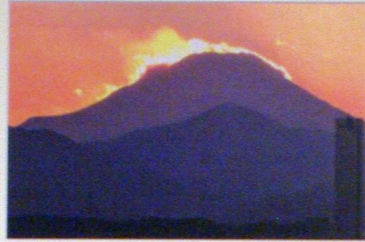
植木 俊光



晏俗淳風樂太平

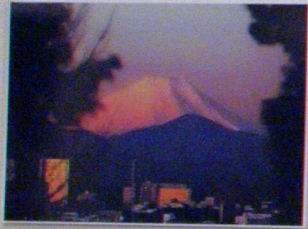
植木 俊光

燃える富士



燃える富士

鏑山 英次



2013/04/27 18:34



小金井からの日没の方位

小金井から富士山を望む方位は、概して南西方向である。この方位から撮影した写真は、富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。この方位から撮影した写真は、富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。

小金井からのダイヤモンド富士

この地図は、小金井から富士山を望む方位を示している。富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。この方位から撮影した写真は、富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。

燃える富士

2013年4月27日、小金井から撮影した富士山の噴火の様子。この写真は、富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。この方位から撮影した写真は、富士山の山頂が画面の中心に位置し、その周囲には雲が広がっている。

特別出品
鏑山 英次

燃える富士

小金井を東西に切る中央線に添うように、国分寺崖線が南に沿う。18か所もある坂は生活路でもあり散策の道でもある。そのどこかに富士山を見るポイントを持つ人も多いことだろう。時に大地を踏まえ、心の“霊峰富士”に直面する人もいよう。あるいは二階のベランダやマンションの窓越しから四季折々の富士の姿を何気なく見ているかもしれない。

小金井では年に二回、ダイヤモンド富士が見える。1月下旬と11月中旬がその時だ（日出入方位-29度）。

たまたま去年の1月17日、富士山を遠望すると、西北面に40mほどの突風が吹き雪煙を巻き上げていて、裏側に当る小金井から見ると山が燃えるようであった。私は興奮して手に汗を握り、火の手に囲まれた富士を見つめていた。

そして次の日、目の覚めるような神々しいダイヤモンド富士が現出したのである。

鰐山 英次

撮影地点：連雀通りと小金井街道が交わる前原坂上交差点・質屋坂上付近

小金井からの日没の方位

小金井から望まれるダイヤモンド富士は
(西南西) -25度です

富士山頂に雲がない天候に恵まれれば
2~3日間は16:30頃から観測したいものです

1月は太陽が山頂の左から右方へ移動します

太陽の一個分の大きさの移動は凡そ2分間です

写真に写る太陽の大きさは
地上の何処から使用しても
レンズのミリ数の100分の1です

上段中央は500ミリ望遠レンズ程度(ズーム)
2段目中央(1月18日撮影)のダイヤモンド富士は
300ミリ望遠レンズ使用

1000ミリの望遠レンズでは
1センチの大きさの太陽になります

小金井からのダイヤモンド富士

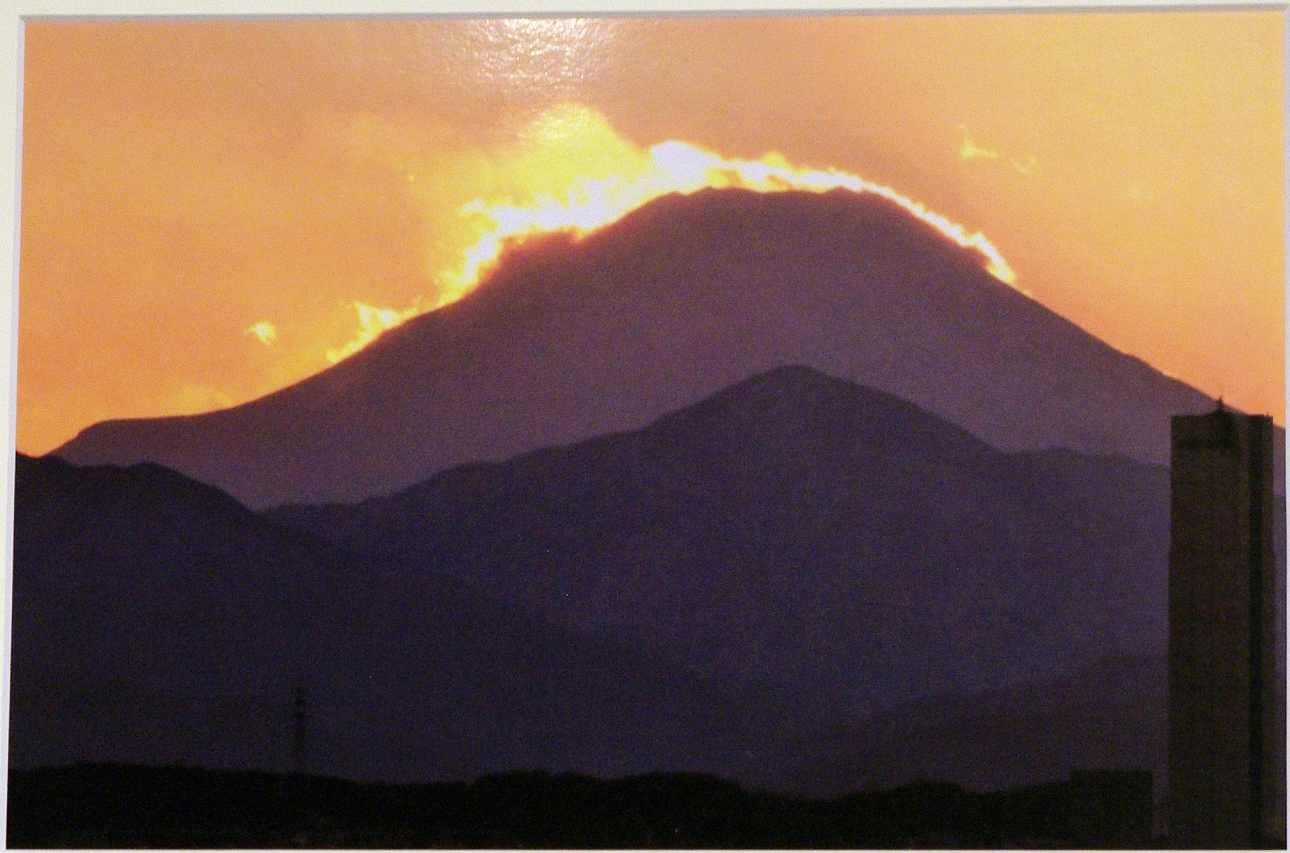


冬至の方位
小金井のダイヤモンド
富士

春分/秋分
の方位

夏至の方位







2015/01/17 16:44



「武蔵野夫人」著作者・大岡昇平さんは戦後間もなく小金井中町の友人宅に奇遇した。昭和23年のことで、晴れた日には国分寺崖線の“むじな坂”の中腹から遠望される富士山に魅入っていたという。
(大岡さんは地質学者でもあった。)

